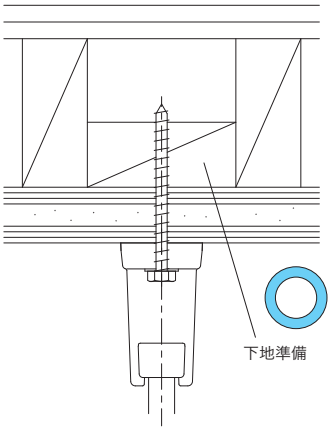
物干金物の取付けについてのご注意

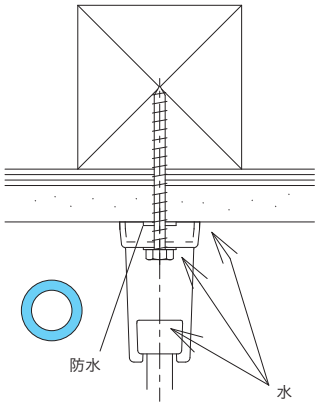
取付けにあたっては商品に付属の「取付説明書」を良くご覧になり、確実な施工を行ってください。
なお、本カタログに掲載の製品は専門業者による取付けを対象としています。

取付場所・位置



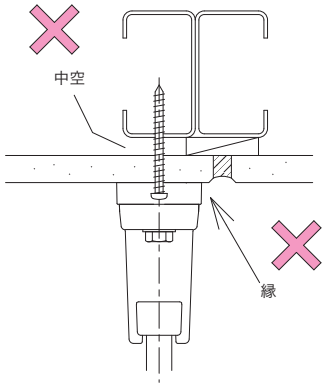
物干金物の取付場所や位置（高さなど）については図面指定があればそれに従い、無い場合はお施主様との打ち合わせにより決定してください。構造や取付方法によっては、その場所に下地材を前もって準備しておく必要があります。

防水処置



取付ネジ部から浸水があると、柱の腐食にまで進行する恐れがあります。外壁材などに下穴をあけたら穴やその周辺に防水シール材を充填し、浸水のないようにしてください。物干金物の外周部にシーリングをした場合も、取付ネジ部や金物構造の隙間から浸水がありますので、必ず穴をあけた部分の防水処置をしてください。

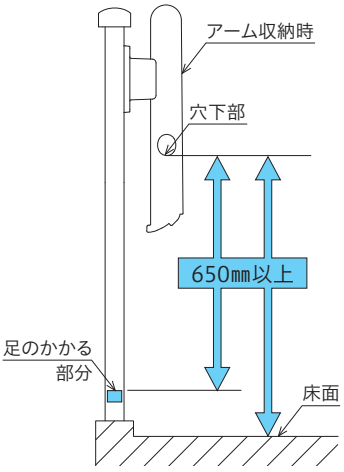
取付部の強度



使用するネジなどが十分に効くことだけでなく、その他の影響にもご留意ください。

- サイディング材の裏に中空部がある場合、その奥の柱にコーチスクリューなどを効かせようとすると外壁材が破損する場合があります。
- 外壁材の縁から近い所に穴あけ・ネジ締めなどを行った場合も、ひびが入って後から破損浸水する恐れがあります。

安全への配慮



ベランダ手すり（腰壁）側に物干金物を取付ける場合、物干本体や収納した竿などが足掛かりになり、転落事故につながる恐れがあります。したがって物干金物を取付ける場合は、転落事故を防止するため、アーム収納時の穴下部が「足のかかる部分」にならないように極力高い位置に取付けてください。法律や各種基準では「足のかかる部分」までを650㎜としていますが、安全のため、800㎜以上をお勧めします。

ネジの長さ

壁材が厚く、取付面から下地材（ネジが有効に効く部分）までが遠い場合は、それに見合った長さのネジをご用意いただく必要があります。

その他

お手入れについて

ステンレスやアルミ塗装品は腐蝕しにくい材料ではありますが、環境や使用期間により徐々に腐蝕します。表面についた汚れなどの放置は腐蝕の進行が早くなる大きな原因となりますので「お手入れの方法」や「使用方法・注意」などを記載した「取扱説明書」は必ずお施主様に渡していただくようお願い致します。

本カタログの表記について

・商品の色については、印刷と実物とは異なることがあります。
・商品改良のため予告なく仕様変更を行うことがありますのでご了承ください。